橋梁補修等に伴う事前塗膜調査

工事開始前が原則

着手前

低濃度PCB廃棄物処理期限　2027年3月31日

喜ばれる品質をモットーに

安保塗装株式会社
あぼやそう

塗膜採取 ～ 分析

安全対策・工法のご提案をさせて頂きます

鋼道路橋の塗膜調査

なぜ塗膜調査が必要なのか

鋼道路橋の塗替えを行う際には、厚生労働省の平成26年5月30日通達にて、「塗料の剥離等作業を発注する者は、塗布されている塗料中の鉛やクロム等の有害な化学物質の有無について把握している情報を施工者に伝えるほか、塗料中の有害物の調査やばく露防止対策について必要な経費等の配慮を行うこと。」と書かれています。また、古い橋梁には、当時使用した塗料などのデータが残っていないことや、一度塗替えを行ってある橋梁は前回の使用塗料が不明のものが多く、塗替え時の安全のためにも、有害物が含まれているかどうかの塗膜調査は必須となります。

塗膜調査の重要性

旧塗膜には、重金属（鉛・クロム等）や、PCB※（ポリ塩化ビフェニル）が含まれている場合が多くあります。これらの有害物が含まれている場合には、設計・積算において仮設設備や素地調整の選定及び廃棄物処理費が大きく違ってきます。また、施工のみならず、塗膜調査においても、労働安全衛生法や特化物規制、産廃法などで様々な規制を受けます。

PCBが含まれる可能性があり、専門の知識と、有資格者での調査及びJIS規格の各保護具着用等が必要となります。

※PCBが含有された場合、高額な産業廃棄物費用が発生します。

point

当社では、鋼道路橋の塗膜調査に必要な有資格者と機械設備をそろえ、各種の法や規則に従って調査をすすめ、有害物があった場合の対策方法と工法等についてご提案させて頂きます。

塗膜調査の流れ

事前調査	塗装記録により、塗装内容と施工時期の確認
作業足場の確保	必要に応じて足場組立または高所作業車を使用
塗膜採取	特殊電動工具※にて塗膜を除去 試料ケースに塗膜カスを採取 ※ 剥離剤または通常使用のサンダーでは他の有害物質が混入します。
塗膜復旧	剥がした部分の塗装を復旧　（必要に応じて）
試験分析	試験分析機関にて分析 （分析機関により、分析方法が違う場合があるので注意が必要となります。）
解析・報告	試験結果により、有害物質が含まれる場合、関係する法令と対応策、施工方法の提案

主な関係法令

- 労働安全衛生法
- 施工令及び労働安全衛生規則
- 鉛中毒予防規則
- 特定化学物質障害予防規則
- 粉じん障害予防規則
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（施行令・規則・条例）
- PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
- 低濃度PCB廃棄物　収集・運搬ガイドライン
- 低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法

調査に必要な資格

- 鉛作業主任者
- 特定化学物質等作業主任者（タール・PCB）
- 自由研削用といし特別教育
- 高所作業車運転者
- 足場の組立等作業主任者
- 特別管理産業廃棄物管理責任者　等

塗膜剥離作業

塗膜の剥離作業は、飛散防止対策を施し、電動器具等にて、一カ所あたり1㎡程度を基本として旧塗膜をすべて除去し下地まで露出させます。塗膜は、粉体状に採取できます。一カ所あたり試料採取及び塗膜復旧まで最短1日で施工可能です。

（ただし、雨天時や強風の時は施工できません。）

試料採取・試験分析

剥離した塗料カスを採取して試料ケースに入れます。試料は、試験分析機関にて分析を行います。検査項目は、PCB（ポリ塩化ビフェニル）・鉛・六価クロム等の含有試験および、PCB・鉛・クロム等任意の項目の溶出試験を行います。

（PCB塗膜は測定方法が定められています。）

塗膜調査の必要期間と費用

◆塗膜調査の結果は、報告書提出まで3～4週間程度かかります。（調査条件により多少の変更あり）

◆塗膜調査の費用は、調査場所や条件により変動いたしますので、現場単位ごとにお見積りをさせていただきます。

低濃度PCB廃棄物処理期限

PCBは処理期限が定められています。

塗膜に含まれる可能性が高い**低濃度PCB廃棄物処理期限は 2027年3月31日**となっています。

point

塗膜調査の結果に従い、鋼道路橋防食便覧に基づいた塗装補修計画及び環境対策をご提案させていただきます。

創業　昭和12年

感謝しています

安保塗装株式会社

〒390-0805

長野県松本市清水2丁目11番51号

お問い合わせ専用ダイアル

0263-39-8186

TEL. 0263-32-4202(代)　FAX. 0263-32-4229

e-mail. info@abo-p.com

http://www.abo-p.com/

安保塗装　検索

加入団体

■一般社団法人　日本塗装工業会
■NPO法人　橋梁メンテナンス技術研究所
■ブラスト施工技術研究会
■PAZL溶射工法協会
■(一社)日本アスベスト調査診断協会 NADA
■一般社団法人　IH式塗膜剥離技術協会
■一般社団法人　日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会
■(一社)日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会
■循環式エコクリーンブラスト研究会
■長野県広告美術塗装業協同組合連合会
■(一社)JATI協会(旧 社団法人日本石綿協会)

他